

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

2020年11月12日、ソースネクスト株式会社は、2021年3月期第2四半期決算を発表した。

四半期業績推移 (百万円)	19年3月期				20年3月期				21年3月期				21年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	(進捗率)	上期会予
売上高	2,436	3,308	4,497	4,470	4,639	4,044	4,406	4,193	2,540	3,248			93.8%	6,174
前年比	54.3%	41.3%	59.9%	61.9%	90.5%	22.3%	-2.0%	-6.2%	-45.2%	-19.7%				-28.9%
売上総利益	1,355	2,126	2,896	2,725	2,815	2,535	2,691	2,338	1,478	1,983				
前年比	37.0%	34.7%	49.8%	53.1%	107.7%	19.2%	-7.1%	-14.2%	-47.5%	-21.8%				
売上総利益率	55.6%	64.3%	64.4%	61.0%	60.7%	62.7%	61.1%	55.8%	58.2%	61.1%				
販管費	1,408	1,713	2,379	2,822	2,809	2,279	2,947	1,676	1,660	1,753				
前年比	20.1%	4.6%	135.8%	117.9%	99.5%	33.0%	23.9%	-40.6%	-40.9%	-23.1%				
売上高販管費比率	57.8%	51.8%	52.9%	63.1%	60.6%	56.3%	66.9%	40.0%	65.3%	54.0%				
営業利益	85	422	338	14	92	270	102	10	74	210			284.3%	100
前年比	35.8%	12.4%	-15.1%	-96.5%	7.8%	-36.0%	-69.9%	-26.9%	-19.3%	-22.3%				-72.4%
営業利益率	3.5%	12.8%	7.5%	0.3%	2.0%	6.7%	2.3%	0.2%	2.9%	6.5%				1.6%
経常利益	85	431	352	37	85	269	154	30	53	190			242.7%	100
前年比	30.6%	13.6%	-12.0%	-91.1%	0.1%	-37.7%	-56.2%	-19.7%	-37.7%	-29.4%				-71.7%
経常利益率	3.5%	13.0%	7.8%	0.8%	1.8%	6.6%	3.5%	0.7%	2.1%	5.8%				1.6%
当期純利益	49	350	226	-9	56	141	67	-40	7	118			181.1%	69
前年比	-42.8%	44.7%	-12.8%	-	13.1%	-59.6%	-70.1%	361.9%	-88.0%	-16.3%				-65.0%
当期純利益率	2.0%	10.6%	5.0%	-	1.2%	3.5%	1.5%	-	0.3%	3.6%				1.1%
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	(進捗率)	通期会予
売上高	2,436	5,743	10,241	14,711	4,639	8,683	13,089	17,282	2,540	5,788			36.2%	16,000
前年比	54.3%	46.5%	52.1%	54.9%	90.5%	51.2%	27.8%	17.5%	-45.2%	-33.3%				-7.4%
売上総利益	1,355	3,482	6,377	9,102	2,815	5,350	8,041	10,379	1,478	3,461				
前年比	37.0%	35.6%	41.7%	44.9%	107.7%	53.7%	26.1%	14.0%	-47.5%	-35.3%				
売上総利益率	55.6%	60.6%	62.3%	61.9%	60.7%	61.6%	61.4%	60.1%	58.2%	59.8%				
販管費	1,408	3,121	5,500	8,322	2,809	5,088	7,571	9,711	1,660	3,412				
前年比	20.1%	31.6%	44.0%	62.7%	99.5%	63.0%	37.6%	16.7%	-40.9%	-32.9%				
売上高販管費比率	57.8%	54.3%	53.7%	56.6%	60.6%	58.6%	57.8%	56.2%	65.3%	59.0%				
営業利益	85	508	846	860	92	362	464	475	74	284			47.4%	600
前年比	35.8%	15.8%	1.1%	-30.5%	7.8%	-28.6%	-45.1%	-44.8%	-19.3%	-21.5%				26.4%
営業利益率	3.5%	8.8%	8.3%	5.8%	2.0%	4.2%	3.5%	2.7%	2.9%	4.9%				3.8%
経常利益	85	516	869	906	85	354	508	538	53	243			40.5%	600
前年比	30.6%	16.1%	2.8%	-28.1%	0.1%	-31.5%	-41.5%	-40.6%	-37.7%	-31.4%				11.6%
経常利益率	3.5%	9.0%	8.5%	6.2%	1.8%	4.1%	3.9%	3.1%	2.1%	4.2%				3.8%
当期純利益	49	399	624	616	56	197	264	225	7	125			30.0%	416
前年比	-42.8%	21.7%	6.5%	-51.2%	13.1%	-50.6%	-57.6%	-63.5%	-88.0%	-36.6%				84.9%
当期純利益率	2.0%	6.9%	6.1%	4.2%	1.2%	2.3%	2.0%	1.3%	0.3%	2.2%				2.6%

出所：会社データよりSR社作成

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

チャネル別売上高 (百万円)	19年3月期				20年3月期				21年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
自社オンラインショップ	-	-	-	-	-	-	-	-	1,314	1,350		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4%	-		
家電量販店	-	-	-	-	-	-	-	-	555	1,214		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-79.3%	-		
法人営業	-	-	-	-	-	-	-	-	630	618		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-7.1%	-		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	38	67		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-11.0%	-		
【旧区分】												
スマートフォン事業者	238	222	185	183	158	150	152	145	-	-	-	-
前年比	-34.6%	-23.4%	-34.4%	-32.2%	-33.6%	-32.4%	-17.8%	-20.8%	-	-	-	-
自社オンラインショップ	1,046	1,269	1,648	2,336	1,997	1,630	1,826	1,602	-	-	-	-
前年比	16.4%	31.1%	16.5%	110.6%	90.9%	28.4%	10.8%	-31.4%	-	-	-	-
家電量販店・他社EC	817	1,573	2,344	1,369	1,918	1,687	1,707	1,711	-	-	-	-
前年比	341.6%	70.8%	152.6%	16.8%	134.8%	7.2%	-27.2%	25.0%	-	-	-	-
その他	333	243	321	582	564	578	721	735	-	-	-	-
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
自社オンラインショップ	-	-	-	-	-	-	-	-	1,314	2,664		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4%	4.4%		
家電量販店	-	-	-	-	-	-	-	-	555	1,769		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-79.3%	-62.2%		
法人営業	-	-	-	-	-	-	-	-	630	1,248		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-7.1%	-6.9%		
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	38	105		
前年比	-	-	-	-	-	-	-	-	-11.0%	-3.1%		
【旧区分】												
スマートフォン事業者	238	460	645	828	158	308	460	605	-	-	-	-
前年比	-34.6%	-29.7%	-31.1%	-31.3%	-33.6%	-33.0%	-28.7%	-26.9%	-	-	-	-
自社オンラインショップ	1,046	2,315	3,963	6,299	1,997	3,627	5,453	7,055	-	-	-	-
前年比	16.4%	24.0%	20.8%	43.5%	90.9%	56.7%	37.6%	12.0%	-	-	-	-
家電量販店・他社EC	817	2,390	4,734	6,103	1,918	3,605	5,312	7,023	-	-	-	-
前年比	341.6%	116.1%	132.7%	90.4%	134.8%	50.8%	12.2%	15.1%	-	-	-	-
その他	333	576	897	1,479	564	1,142	1,863	2,598	-	-	-	-

出所：会社データよりSR社作成

*2015年3月期より販売チャネルの区分を一部変更したため、前年度の数字は参考値。

2021年3月期第2四半期累計（上半期）実績（2020年11月12日発表）

- ▷ 2021年3月期第2四半期累計（上半期）実績：売上高5,788百万円（前年同期比33.3%減）、営業利益284百万円（同21.5%減）、経常利益は243百万円（同31.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は125百万円（同36.6%減）。
- ▷ 上半期会社計画比：2021年3月期第2四半期累計（上半期）会社計画に対する達成率は売上高93.8%、営業利益284.3%、経常利益242.7%、四半期純利益181.1%。売上高は会社計画を若干下回って着地したが、利益面で実績は会社計画を大きく上回った。背景は、以下の通り。
- ▷ 売上高については、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴いインバウンド需要が減少し、上半期会社業績予想を若干下回って着地した
- ▷ 販売費及び一般管理費については、効果的な削減を実施した。販売促進費は店頭への来店者数を鑑みながら大規模な販促展開を抑制しつつ進めた。広告宣伝費は、インバウンド需要の減少にあわせてウェブ広告を効果的な媒体に注力することでかかる費用を圧縮した。この結果、各利益は、会社計画を大きく上回って着地した
- ▷ 2021年3月期通期会社計画は変更なし。今後、同社業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示としている
- ▷ 進捗率：2021年3月期通期会社計画に対する進捗率は売上高36.2%（2020年3月期実績に対する前年同期実績50.2%）、営業利益47.4%（同76.3%）、経常利益40.5%（同65.8%）、四半期純利益30.0%（同87.6%）
- ▷ 前年同期比33.3%減収：自社オンラインショップ（同4.4%増）、家電量販店（同62.2%減）・法人営業（同6.9%減）、その他（同3.1%減）となった。AI通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）」は、新型コロナウイルス感染症拡大を背景とする外出規制および販売店の休業などにより店頭販売や海外旅行者向けの需要が減少した。一方、テレワーク関連のソフトウェア、ハードウェアが堅調に推移した。
- ▷ 同21.5%営業減益：売上総利益率は同1.8%ポイント低下の59.8%であった。返品調整引当金戻入額が増加し、返品調整引当金繰入額・戻入額を調整した差引売上総利益率は1.1%ポイント上昇の63.9%となった。販管費は、売上高の落ち込みによる利益への影響を回避すべく、圧縮を実施し、前年同期に比べて1,676百万円（32.9%）減少した。具体的には、「POCKETALK®」では昨年（2019年）に実施していたTVCMやテレビショッピングへの露出を取りやめることで、広告宣伝費を抑制した。加えて、テレビショッピングの実施に伴い発生していたコールセンターへの業務委託費や、その他店頭展開のための販売促進費も削減に努めた。但し、減収率の方が大きく、販管費率は同0.4%ポイント上昇の59.0%となった。それらにより、営業利益率は同0.7%ポイント上昇の4.9%となった。

外部環境

2020年4～9月のパソコン出荷台数は前年同期比98.2%となった（2020年10月、JEITA調べ）。

2021年3月期上半期における同社の取り組み

同社グループは、IoT製品やスマートフォン向けアプリおよびパソコンソフトの新規ユーザーの獲得と、マーケットの拡大に取り組んだ

「POCKETALK®」の動向

- ▷ AI通訳機「POCKETALK®（ポケットーク）」は、新型コロナウイルス感染症拡大を背景とする外出規制および販売店の休業などにより店頭販売や海外旅行者向けの需要が減少した。
- ▷ そのため、AIを相手に英会話練習ができる「会話レッスン機能」の言語に中国語を加え、語学学習ツールとしての「POCKETALK®」の活用を前面に推し出した。

- ▷ これを踏まえ、自社オンラインショップでの拡販に加え、新たに医療機関や外国人労働者を採用する製造業・工場、公共機関などのBtoBチャネルを開拓していくことで、「POCKETALK®」の拡販に注力した。
- ▷ 2020年7月には、従来の「POCKETALK S」の姉妹品にあたる「POCKETALK S Plus」を新たに発売した。本製品はより大きな画面で文字を大きく表示して使いたいという顧客のニーズに応えるために開発した。翻訳の性能やその他の機能は全く同じで、画面サイズを拡大しバッテリー容量も増大させている。
- ▷ 同年8月には「ポケットークmimi（ミミ）」を発売した。本製品は、ボタンを押して話した内容を瞬時に大きな文字で表示するAIボイス筆談機で、加齢性難聴の方や聴覚障がいのある者とのコミュニケーションをスムーズで快適なものにする。「POCKETALK」を日本語から日本語への翻訳に設定して、耳の聞こえにくい人との会話に使われる顧客がいることがきっかけで開発した。全国の家電量販店の他、補聴器を取り扱う眼鏡店でも販売している。

テレワーク関連

- ▷ 内閣のテレワーク推進を受け、同社はテレワーク関連のソフトウェア・サービス、ハードウェアをスピーディに提供していく方針を打ち出した。2020年3月には同社サイト上でテレワークに役立つ製品を紹介するページ「テレコレ〜TELEWORK COLLECTION」を公開し、株式会社ブイキューブの通話ノイズ軽減サービス「Krisp（クリस्प）Pro」を始め、様々なテレワーク関連製品を販売。同年7月には会議室用webカメラ「Meeting Owl（ミーティングオウル）」を発売した。
- ▷ 「Meeting Owl（ミーティングオウル）」はAIが発言者を自動認識して映像にも音にもフォーカスし、臨場感にあふれた一体感のある会議ができる、米国で開発された製品。国内での独占販売権を取得している同社は、タレントの角田 晃広氏（東京03）を起用した新CMを公開した。更にTVやタクシー広告への掲載も推し進めた結果、発売からわずか3ヶ月ほどで販売台数3,000台を突破した。
- ▷ 在宅ワークやオンライン学習など、自宅でパソコンを利用する方が増えたこともあり、セキュリティ対策ソフト「ZERO スーパーセキュリティ」や、ウェブ会議システム「Zoom」とも連携できるオンラインストレージサービス「Dropbox」などの従来製品が売上に寄与した。

販売チャネル別営業概況

- ▷ 各販売チャネルの営業概況は以下の通りである。
- ▷ 当第1四半期より、販売チャネルの区分を変更している。従来「その他」に区分していた法人営業を「スマートフォン通信事業者（キャリア）」に追加し、名称を「法人営業」に変更している。このため、前年同期との比較については、変更後の数値に組み替えて比較を行っている。

自社オンラインショップ：売上高2,664百万円（前年同期比4.4%増）

同チャネルでは、同社のウェブサイトソースネクストeSHOPを併設し、「POCKETALK®」やソフトウェアを中心としたIoT・ハードウェア等の販売を行なっている。

- ▷ 新作の「POCKETALK S Plus」は、「ポケットークS」に比べて大型化することで、文字の見やすさ、相手への見せやすさを実現できたことや、バッテリーの容量を強化したことで長時間利用できるようになったことなどを分かりやすくオンラインショップ上で表記した。
- ▷ AIボイス筆談機「ポケットークmimi（ミミ）」は、販売に加えてレンタルの取り扱いも開始した。初期導入にかかる費用を最小限に抑えられることから、個人はもちろん、医療関係や手話サークルなど多くの方面で利用が進んでいる。

- ▷ テレワーク関連製品は、新作の「Meeting Owl」の単独サイトをオープンした。CM動画の公開に加えて、360度カメラの自動フォーカスなどの機能説明や導入事例の紹介、体験利用申し込みページなどを加えることで、個人ユーザーから企業まで幅広い層への訴求を推し進めた。
- ▷ 既存製品では「筆まめ」「筆王」「宛名職人」の年賀状ソフト3ブランドを発売した。旧バージョンからのアップグレード版も好調に推移している。
- ▷ その他テレワークに関連した製品として、セキュリティソフトの「ZEROスーパーセキュリティ」、ウェブ会議などの動画を録画できる「B's動画レコーダー」、オンラインストレージサービスの「Dropbox」、PDFの作成・変換・編集ができる「いきなりPDF Ver.7 COMPLETE」などの売上が拡大した。
- ▷ 「テレコレ」では、在宅ワーカーの増加にあわせて、初めてウェブ会議を行なうユーザー向けにノートPCやワイヤレスイヤホン、「Xsplit Vcam」などをセットにした「Web会議参加セット」などを販売した。
- ▷ また、ノートパソコンを置く高さを自動的に調節できるラップトップテーブルや、スマートフォンスタンド、無線LAN中継器など、在宅ワークでのデスクトップ周りの環境を整備し、快適にする製品も販売した。

家電量販店：売上高1,769百万円（前年同期比62.2%減）

同チャンネルでは、主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けIoT製品およびパソコンソフトなどの販売を行っている。

- ▷ 「POCKETALK® S」は、外出規制・販売店の休業などにより店頭販売が減少したものの、第2四半期には新作の「POCKETALK S Plus」や「ドラえもんEdition」などを販売した。
- ▷ AIボイス筆談機「ポケットークmimi（ミミ）」は、従来の家電量販店だけでなく、メガネ専門店の補聴器コーナーなど、新規の販売先も開拓を進めた。
- ▷ その他、新作の「Meeting Owl」をはじめ、年末に向けて年賀状ソフト3ブランドの展開も拡大した。
- ▷ 既存製品ではテレワークやオンライン学習の需要が増加したことで、「ZEROウイルスセキュリティ」、「ZEROスーパーセキュリティ」などのセキュリティソフトや、タイピングソフトの「特打」シリーズの売上が拡大した。
- ▷ しかしながら、昨年の「POCKETALK」やパソコンソフトの消費税増税前の駆け込み需要による売上を超えるには至らなかった。

法人営業：売上高1,248百万円（前年同期比6.9%減）

同チャンネルでは、法人向けの「POCKETALK®」の販売・レンタル提供や、パソコンソフト・スマートフォンアプリの使い放題サービスなどの提供を行なっている。

- ▷ 法人向け「POCKETALK®」は、海外旅行者が減少したことから、新規の販売受注は大きく減少した。既存契約は続いているものの、前年同期に比べて売上高が減少した。
- ▷ テレワーク関連では「Meeting Owl」について、CM放映開始後より製造業や金融、大学、各種団体など様々な企業から問合せや体験利用の申し込みが急増した。
- ▷ 大手キャリアへの定額アプリ使い放題サービスへのコンテンツ提供及び販売については、「App Pass（ソフトバンク）」に「Power amp」を提供した。一部キャリアでは会員数の増加に加えて広告施策により、売上の拡大に繋がった。既存製品では、格安スマホやSIM関連事業者向けに提供した留守番電話が読めるアプリ「スマート留守電」や「アプリ超ホーダイ」などの月額利用が引き続き堅調に推移した。

- ▷ その他、パソコンソフトの法人ライセンスなどについては、テレワークによりセキュリティソフトの需要が前年同期に比べて増加したものの、前期にあったMicrosoft社の「Windows7」サポート期間終了予定に伴うパソコンの入需要が今年は無かったため、全体的に前年同期比減収となった。

その他：売上高105百万円（前年同期比3.1%減）

海外における「POCKETALK®」販売などが含まれる。

- ▷ 海外では米国や欧州の「Amazon」を中心に「POCKETALK®」を拡販中であるが、当第1四半期には新型コロナウイルスの世界的な流行によって拡販が縮小していたが、当第2四半期には新型コロナウイルス流行前の水準までほぼ回復した。米国のAmazonを通じた「POCKETALK」の販売が堅調に推移した。米国のSourcenext Inc.を通じて「POCKETALK」を医療機関へ850台寄付したことが評価され、Newsweek誌「パンデミックにおけるGood company 50社」に選出された。
- ▷ その他の地域では主にアジア・タイでのプロモーション活動が進んだ。マレーシアでもPOP UPストアでの展開が開始し、駐在邦人を中心に販売が進んだ。

今期会社計画

(百万円)	19年3月期			20年3月期			21年3月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期会予	通期会予
売上高	5,743	8,968	14,711	8,683	8,599	17,282	5,788	10,212	16,000
前年比	46.5%	60.9%	54.9%	51.2%	-4.1%	17.5%	-33.3%	18.8%	-7.4%
売上原価	2,262	3,267	5,529	3,333	3,570	6,903		2,327	
売上総利益	3,482	5,700	9,182	5,350	5,029	10,379	3,461		
前年比	35.6%	50.7%	44.6%	53.6%	-11.8%	13.0%	-35.3%		
売上総利益率	60.6%	63.6%	62.4%	61.6%	58.5%	60.1%	59.8%		
販売費及び一般管理費	3,121	5,201	8,322	5,088	4,623	9,711	3,412		
売上高販管費比率	54.3%	58.0%	56.6%	58.6%	53.8%	56.2%	59.0%		
営業利益	508	352	860	362	112	475	284	316	600
前年比	15.9%	-56.0%	-30.5%	-28.7%	-68.1%	-44.8%	-21.5%	181.1%	26.4%
営業利益率	8.8%	3.9%	5.8%	4.2%	1.3%	2.7%	4.9%	3.1%	3.8%
経常利益	516	390	906	354	184	538	243	357	600
前年比	16.0%	-52.1%	-28.1%	-31.5%	-52.8%	-40.6%	-31.4%	94.3%	11.6%
経常利益率	9.0%	4.3%	6.2%	4.1%	2.1%	3.1%	4.2%	3.5%	3.8%
当期純利益	399	217	616	197	28	225	125	291	416
前年比	21.8%	-76.8%	-51.2%	-50.6%	-87.2%	-63.5%	-36.6%	945.8%	84.9%
純利益率	6.9%	2.4%	4.2%	2.3%	0.3%	1.3%	2.2%	2.9%	2.6%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp